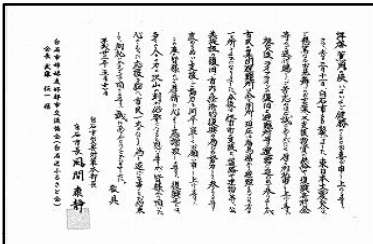


震災で被害を受けた宮城県白石市へ義援金をお送りしました

当会では、平成23年3月15日から6月13日の間に、宮城県白石市で避難されている方々へのお見舞いとして義援金の受付を行いました。

この期間中に、皆様から寄せられました合計4,163,463円の義援金を宮城県白石市へお送りしました。

右のように、風間白石市長よりお礼状が届いております。皆様の心温まるご支援、誠にありがとうございました。



平成23年度寄付者の御紹介

ムトウ建設工業株式会社安全衛生協力会 様 200,000 円
札幌白石ライオンズクラブ 様 80,000 円

ご寄付により、ふるさとまつりに宮城県白石市の片倉鉄砲隊を招待したほか、中学生の主張発表会では、3年生の部の最優秀賞、優秀賞受賞者を宮城県白石市へ派遣し、交流を深めることができました。また、このほかにも様々な方々からご寄付をいただいております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

○ 白石区ふるさと会とは

白石区ふるさと会は、白石区を人情味あふれる素晴らしいまちに育てていくことを目的として、昭和51年3月に設立しました。

白石区ふるさと会は、区内の8連合町内会を始め、様々な住民組織、官公庁、企業等の団体会員及び個人会員で構成されており、各地区の文化体育事業、青少年健全育成活動等への助成を行うほか、白石区ふるさとまつりを開催するなど白石区のまちづくりを支えています。

白石区にかかわりのある個人の方または白石区内でまちづくり活動・企業活動を行う団体であれば、どなたでもご入会いただけます。会員は、会の事業報告（決算）や事業計画（予算）の議事を行う「白石区ふるさと会総会」への出席などを通して、会の活動にご参加いただけます。

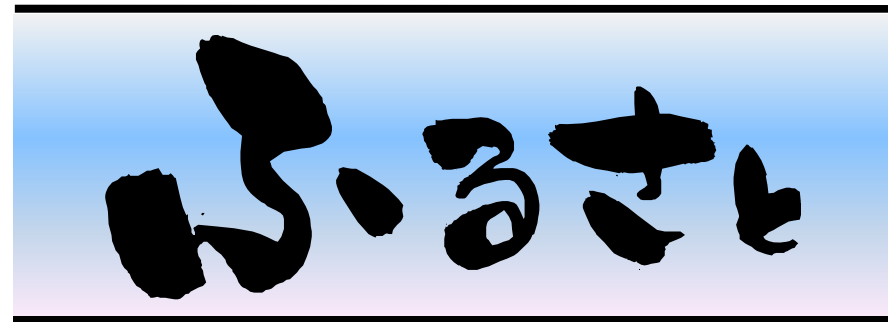
○ 白石区ふるさと会への加入及び会費の納入方法

白石区ふるさと会にご加入いただきましたら、白石区ふるさと会会員証（兼年会費領収書）を発行いたします。なお、銀行振込により会費を納入いただいた場合は、会員証は後日発行となります。

〔団体会員：年会費5,000円以上、個人会員：年会費1,000円以上〕

区分	納入先	備考
銀行振込	北洋銀行白石中央支店 普通口座 0381179 白石区ふるさと会 会長 武藤 征一（ムツ マサヒ）	大変恐縮ですが、振込手数料は別途ご負担願います。
事務局への持参	下記（白石区役所2階 総務企画課庶務係）までお願いします。	

<お問い合わせ先> 白石区ふるさと会事務局（白石区市民部総務企画課庶務係）
電話：011-861-2400（内線213）
ホームページアドレス：http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/machi/furusatokai/index.html



宮城県白石市の片倉鉄砲隊と甲冑隊20名
白石区ふるさとまつりに参上！！



会場を埋め尽くす来場者を前に、迫力のある姿の片倉鉄砲隊と甲冑武者。

今年度のテーマは「伝えたい宮城の歴史」。大きな被害のあった白石市をはじめ、縁の深い被災地を支援するべく、白石市を応援する「ふるさとプロジェクト」の開催を決断しました。今回は、20団体の露店の他に、地元小学生や区民による楽しいステージイベントなどが行われました。

また、若者プロジェクトで作成したモザイクタイルアートは8月12日に宮城県白石市長に贈呈し、風間康静市長に贈呈しました。



タイルアートの贈呈。左から堀口白石区長、武藤ふるさと会会長、風間白石市長。

7月16日（前夜祭）、17日（本祭）の両日、白石区ふるさとまつりが、白石区役所駐車場と区民センターで開催されました。今年度は、東日本大震災により、日本各地で祭りなどが一時自粛されるムードがありました。しかし、「こんな時こそお祭り、地域の皆さんを盛り上げよう」と、まつり委員会はまつりの開催を決断しました。今回は、20団体の露店の他に、地元小学生や区民による楽しいステージイベントなどが行われました。

時折雨が降るあいにくの天候にも関わらず、二日間で約2万4千人が会場を訪れました。最も沸いたのは、今回が初見となる宮城県白石市の片倉鉄砲隊と甲冑武者が参上した場面。実物の鉄砲と、20kg以上もある鎧兜を身にまとい、会場内を練り歩き、会場からは歓声が上がりました。今年36回を迎えた、ふるさとまつり。今回は、ひと味違う想いを込めたまつりとなりました。二日間で延べ550名の方々にスタッフとして協力いただきました。ありがとうございました。

若者PJ
若者らしい工夫と熱い想いを込めて

ふるさと会会員企業の若手社員と学生などからなる若者プロジェクトは今年度で3年目。東北の食材をふんだんに使用したしろいし大鍋、東北風バーガーは好評でした。また、今回は、来場者一人ひとりの想いを込めて小さなタイルを貼り合わせる1,000ピースの「モザイクタイルアート」が完成しました。



7月16日（前夜祭）、17日（本祭）の両日、白石区ふるさとまつりが、白石区役所駐車場と区民センターで開催されました。今年度は、東日本大震災により、日本各地で祭りなどが一時自粛されるムードがありました。しかし、「こんな時こそお祭り、地域の皆さんを盛り上げよう」と、まつり委員会はまつりの開催を決断しました。今回は、20団体の露店の他に、地元小学生や区民による楽しいステージイベントなどが行われました。

歴史
歴史文化委員会発足
～白石の歴史を次世代に～



3面
中学生の主張発表会 2面
子どもワンダーランド 3面
川まつり、晴天に恵まれて 3面
でっち奉公、貴重な体験 3面
義援金の御礼、寄付者ご紹介等 4面

～遊びを通して国際交流～

子どもワンダーランド



子どもたちに、外国からの留学生やJICA札幌の研修員と遊びながら楽しく国際交流をしてもらいたい。

そのような思いから、白石区ふるさと会では、毎年「白石区子どもワンダーランド」を開催しています。

今年度は11月12日に実施し、区内の子どもたち約100人が楽しい時間を過ごしました。

留学生や研修員は、16力国から21人が参加。まず始めに「幸せな手をたたこう」をそれぞれの母国語と振り付けで披露し合ったところ、国ごとに様々な違いがあることに、子どもたちは興味津々な様子。

始めは緊張気味だった子どもたちも、じゃんけん列車などのゲームやマカシナで徐々に打ち解け、

目をキラキラさせて楽しんでいました。参加してくれた外国の方々もそんな子どもたちを見て笑顔がふくれ、日本での良い思い出となったようです。



川で遊ぶ機会を子どもたちに

毎年、月寒川で開催される「月寒川にぎわい川まつり」には、ふるさと会も実行委員会の一員として参加しています。

今年度は7月30日に開催し、親子連れなど約670人が参加しました。子どもたちは「月寒川探検隊」として、元気に川を探検。スタッフから魚の捕まえ方のコツを教えてもらい、たも網でトミヨやウグイをすくう

第16回月寒川にぎわい川まつり



チューブ乗りやイカダで楽しむ子どもたち

と「いっぱい捕れた！」など歓声があちこちであがりました。他にもチューブ乗り、カヌー、水車発電実験など様々な川遊びに挑戦し、夏の一日を満喫していました。

日頃の思い堂々と

10月22日、白石区民センター（白石区本郷通3丁目北）で、「白石区中学生の主張発表会」を開催しました。



2年生の部最優秀賞
日章中学校 塚野 育穂さん

第42回白石区中学生の主張発表会

これは、自ら考え発表する力を養ってもらうと、昭和45年に始まった歴史ある大会で、今回が42回目になります。

区内全ての中学校から2名ずつ代表生徒が出場したほか、宮城県白石市からも2名の生徒を招待し、合計18名が観客の前で熱弁をふるいました。

18編の主張には、それぞれドラマがあり、観客が感動で涙する場面が多くありました。

出場した中学生にも「やりきった！」という充実感から、記念撮影時に号泣する姿も見られました。3年生の部の最優秀賞を受賞した坂田毬絵さん（東白石中学校）



～大会を終えて～

は、「父の命がくれた道」と題して、父親の突然の死、それを機に医者になる決意をしたことを熱く語りました。観客たちは深くうなずきながら、真剣な表情で聞き入っていました。

中学生の交流訪問
開拓のルーツを訪ねて



白石市長と

第42回白石区中学生の主張発表会3年生の部で最優秀賞を受賞した坂田毬絵さん（東白石中学校3年）、

優秀賞を受賞した佐藤彰恵さん（白石中学校3年）の2人が、白石区ふるさと会の交流事業として、白石の地名のルーツである宮城県白石市を交流訪問しました。お二人は、白石市の風間康静市長を表敬訪問。また、白石市立白石中学校を訪問し、全校生徒の前で特別発表を行った後、3年生の教室で給食と一緒に食べながら交流を深めました。翌朝、ホテルを出発する際には、仲良くなった白石中学校の生徒さん達が見送りに来てくれるというサブ



白石城の前で記念写真

ライブもあり、忘れられない思い出となりました。

他団体事業への助成

白石区ふるさと会では、他団体事業への助成を行っています。

今年度は、区内の連合町内会が実施する運動会・各種大会等の地区行事や中学校区における青少年健全育成推進活動など区内各地区で実施する事業（合計7事業）に対する助成を行いました。



子どもハイキング・白石東地区（文化体育事業）



社会を明るくする運動 白石区民大会

ふるさと会会員企業のみなさまへ

白石でっち奉公

受入企業募集中！！



～次代の白石を担う子どもたちに働くことの楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい～

白石区ふるさと会では区内小中学校、各事業所と協力して就労体験事業を実施しています。今年度は商店、病院、企業、飲食店など約200社の協力を得て、区内全中学校と南郷小学校、東札幌小学校の約1,600名の生徒、児童が一日「でっち奉公」を体験しました。

子どもたちにとっては、普段、学校や家庭ではできない貴重な経験となります。一日就労体験にご協力いただける事業主様は白石区ふるさと会事務局までお気軽にお問い合わせください！